

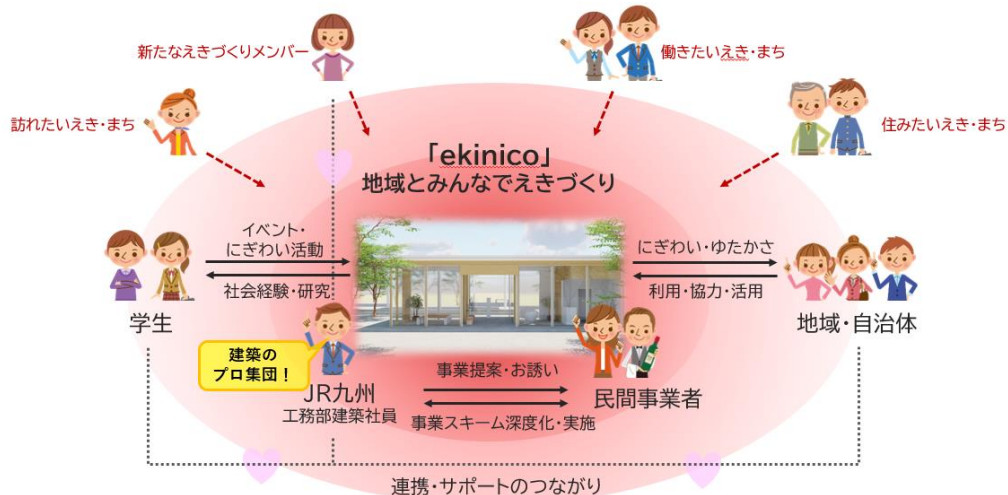
2024年10月23日

「ekinico」スタート！

JR九州ではこれまで「九州 DREAM STATION」をはじめとして、様々なかたちで”地域の皆さまと協働した駅・地域の賑わいづくり”に取り組んでまいりました。

今回、主に無人駅など、にぎわいを失いつつある駅舎にうまれた遊休スペースを地域の皆さまと一緒に工夫して活用し、持続可能な駅のにぎわいづくりを目指す新たな繋がり「ekinico」をスタートします。

JR九州はこれからも“地域の皆さまと協働した駅・地域のにぎわいづくり”に取り組み、九州の元気をつくり続けます。



1.概要

普段から駅舎の点検や維持更新計画を立てている工務部建築チームが、主に無人駅等の利活用について民間の事業者さまに積極的にアプローチし、合わせて自治体さまや地域の皆さま、学生の皆さまと連携することで、持続可能なにぎわいの仕組みづくりを進める取り組みです。

2.名称

「ekinico(えきにこ)」

～名称コンセプト～

「駅でにっこり」「駅に行こう」という、駅のポテンシャルを視覚的に感じさせる名称としています。また”nico”には、すべての人と連携して継続的に駅に光を照らすおもいを込めています。

n … nexus【つながり・連携】 i … illuminare【照らす】 c … continuus【継続的な】 o … omnis【すべての人】

3.取り組みをはじめの駅

- (1) 鹿児島本線 荒尾駅
荒尾市・一般社団法人のあそび labo と協働したコミュニティスペース「あらおリビング」を開業
- (2) 久大本線 筑後吉井駅
株式会社つぎと九州、Zelkova Coffee と協働したコーヒーショップを開業予定
- (3) 久大本線 南久留米駅
地域の事業者さまと協働したシェアキッチンを開業予定



あらおリビング エントランスイメージ

4.その他

取組の詳細、今後の新たな取組については、事業の深度化に合わせて随時お知らせします。

1. 荒尾駅における取り組み

- 名称 「あらおリビング」
- 概要
 - ・ 旧駅事務室の一部をリノベーションし、コミュニティスペースをオープンします。
 - ・ コミュニティスペースでは、待合機能に加えて物販やワークスペース機能など、各種機能の実証に取り組み、駅を利用されるお客さまや市民の皆さまにとって必要な機能を検証します。
 - ・ コミュニティスペースは、一般社団法人のあそび labo が荒尾市から委託を受け運営を行う予定です。
- 開業日 2024年11月23日(土・祝)
- その他
 - ・ コミュニティスペースのオープンに合わせて、第8回のあそびマルシェが開催されます。また当日は荒尾市主催で、駅前広場ロータリーの一部を交通規制し実験的に広場として使うことで、将来の荒尾駅前像を体験しながら考えていく取組を行います。

【一般社団法人のあそび labo 様について】

日常に、街中に、のあそびを！“をテーマに野遊びを軸とした地域活動を目的に法人を設立。2020年4月、荒尾駅前の廃ホテルを活動拠点にしようとDIYリノベを始めたのを契機に、まちづくりには全く経験のなかったアウトドア集団が、コロナ禍の中、1年半をかけて山小屋をコンセプトとしたホテルとカフェ「のあそび lodge」を開業。さらに「野遊びを通じた駅前の活性化」を目的にアウトドア・コンテンツを中心としたマルシェを駅前で開催。2023年には駅前ロータリーに面した「旧大石タバコ」のDIYリノベのワークショップ形式にて実施し、シェアキッチンとして運用を開始した。その他にも防災教室等を開催し地域貢献に取り組んでいる。



一般社団法人のあそび labo 代表 中村 光成様



2020年にオープンした「のあそび lodge」



206

～荒尾市長 浅田様よりコメント～

荒尾駅周辺は、荒尾市の中心拠点のひとつとして、以前は商店街としてにぎわっていましたが、現在では住民の高齢化や空き店舗の増加などにより、人通りも少なくなっている状況です。

そのような中、荒尾市では、令和5年度から「荒尾駅前活性化プロジェクト」として、一般社団法人のあそび labo.様とも連携し、リノベーション手法を用いたまちづくりの取り組みを行っています。本プロジェクトでは、空き家・空き店舗などの資産を活用し、付加価値を高めることで、駅周辺のにぎわいの創出や駅の利用促進などを図ることを目指しています。今回、JR九州様のご協力もあり、荒尾駅舎の一部を市が賃借したうえでリノベーションし、コミュニティスペースとしてオープンすることとなりました。本スペースでは、待合機能はもちろんのことワークスペースや物販等についても検討し、駅利用者の利便性向上を図るとともに、将来的な駅周辺の再整備も見据えて、駅舎に必要な機能について地域の皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

～一般社団法人 のあそび labo 中村様よりコメント～

4年前、登山を中心としたアウトドア経験が社会の役に立てることができないかと立ち上げた「のあそび labo」。コロナ禍の中、DIYで始めた「のあそび lodge」のリノベーション活動が徐々に認知され、今年度は、JR 荒尾駅舎の実証事業にまで参加させていただくことになりました。昨年度は熊本県から地域づくり夢チャレンジ大賞、本年度は九州 DIY リノベ WEEK の一員として第2回不動産業アワード大賞の受賞という評価をいただいたものの、まだまだ未熟な団体であり周りの方々の支援なくして活動を継続することは不可能です。

今回、JR九州様、荒尾市様とともにDIYリノベという手法を用い駅舎の活用を試みるようになりますが、さらには駅前広場も含めた荒尾駅の建替え、停車場線から海陽スマートタウンにつながる取組みに発展していくことが予測されます。その端緒に関われることは誠に光栄ですが、単に発展を追い求めるのではなく、法人理念を忘れず、「自然に感謝し、前世代から受け継いだ郷土を豊かなものとして次世代に継承する」ことを心がけていきたいと考えています。

2.筑後吉井駅における取り組み

- 名称 Zelkova Coffee えき
- 概要
 - ・ 旧駅事務室の一部をリノベーションし「コーヒーが飲める豆屋」をオープンします。
 - ・ Zelkova Coffee えき は、株式会社つぎと九州がプロジェクト開発し、株式会社田中屋が企画・運営します。
- 開業日 2024年11月中旬～下旬予定

【Zelkova Coffee について】

福岡県うきは市の「ぶどうのたね」の中にあるコーヒー専門店。店の前に佇む大きな2本のケヤキ(ゼルコバ)の木が由来。「美味しさを通じて関わる全ての方々に、ホッとする時間をお届けする。」この言葉をテーマに、世界中の産地に自ら買い付けに行く。土地の個性が表現されたコーヒーを熱風式焙煎機「revolution」を使って独自焙煎、飲み心地がよく素材独自の風味が余韻として優しく残る、風のようなすっきりとしたコーヒーを提供する。美味しいコーヒーは勿論、豆の販売やドリップ教室なども行っておりファンも多い。



株式会社田中屋 田中 隆宣様



～株式会社田中屋 田中さまよりコメント(Zelkova Coffee えき へのおもい)～

目指すのはカフェや喫茶店ではなく「コーヒーが飲める豆屋」。私はコーヒー生産地に伺い、コーヒーを作る人を知り、土地を知るうちに日本では美味しいコーヒーのことがあまり知られていないと感じており、生産地と、飲む方の距離を近づけるにはどうしたらよいか、といつも考えておりましたが、今回筑後吉井駅という素晴らしいロケーションのお話を頂きました。「えき」の意味は駅。そして液、易、益。様々な「えき」を通じてローカルから世界に向けて美味しさをお届けします。手軽に、そして親しみやすく。「ちょっとした幸せ」を作るお店にしたいです。美味しいコーヒーを通じて筑後吉井のことを知っていただけることが目標です。そして、流通・観光・生活が交錯する駅ならではの時間を提供できればと考えています。

3.南久留米駅における取り組み

○ 名称 share kitchen MINAMIKURUME

○ 概要

- ・ 無人駅の旧駅事務室部分に、曜日ごとに異なる人気店に出店いただくシェアキッチンを開業します。10坪ほどの小さなスペースですが、本プロジェクトにご賛同いただき、かつ、地域みなさまに喜んでいただけるような事業者さまにお声がけしております。
- ・ 久留米大学の学生チームの皆さまや様々な事業者の皆さまと各種イベントや、ワークショップ開催などの協働を検討しており、地域の皆さまと一体となった持続可能な賑わい創りを目指します。
- ・ シェアキッチンの事業検討として、久留米市田主丸の創作フレンチレストラン「Restaurant Spoon」さまをはじめとした事業者様に試験販売を行っていただいております。
- ・ 詳細については決まり次第お知らせします。

○ 開業日 2024年12月末予定



ekinico share kitchen MINAMIKURUME イメージパース(外観、内観)

4. 九州 DREAM STATION と ekinico について

取り組み	対象	手法	目指す未来
九州 DREAM STATION	すべての駅・路線	・「にぎわいパートナー」を広く公募 ・「にぎわいパートナー」による事業の推進・支援	地域の皆さまと協働した 駅・地域のにぎわいづくり
ekinico	主に無人駅など、にぎわいを失いつつある、遊休空間を有する駅	・JR九州からのアプローチ ・事業者等との協働・連携による駅舎再生及び事業推進	